

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：教育指導費

事業名 外国語指導助手等設置費・活動費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会教育研修課 研修第二係 電話番号：058-272-3456

E-mail：c17781@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 251,523 千円 (前年度予算額：250,540 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	250,540	0	0	0	0	0	1,015	0	249,525
要求額	251,523	0	0	0	0	0	1,224	0	250,299
決定額	251,523	0	0	0	0	0	1,224	0	250,299

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・「語学指導等を行う外国青年招致事業 (JETプログラム)」を活用した外国語指導助手招致事業により、外国語教育の充実と国際理解教育、グローバル化に対応した教育を推進するため、全ての県立高校の生徒がALTによる授業を受けられるように配置している。
- ・2020年度から始まった大学入学共通テストでは、「リスニング」が「リーディング」と同配点になり、2022年度から全面実施される新学習指導要領では、「読む」「聞く」「話す (やり取り・発表)」「書く」の英語4技能を総合的・統一的に学び、発信力を高めることが目標に掲げられている。

(2) 事業内容

- ①県立高校の生徒が週1回程度、ALTの授業を受けられるようALT53人を配置
- ②ALT及び学校のサポートのため、教育研修課に国際交流員(CIR)1人を配置

◆配置数の変遷

R2 年9月～：54人 (計画：高等学校53人 (教育研修課兼務1人を内数に含む)
教育研修課 1人 (国際交流員))

→12人 (R3.3時点実績) ※「新型コロナウイルス感染症に関する水際対策の強化に係る措置」により来日延期

R3 年6月～：54人 (計画) ※JETプログラム参加者は特例として、順次来日を再開

→44人 (R4.3時点実績) ※R3.12に再度「新型コロナウイルス感染症に関する水際対策の強化に係る措置」により来日延期

R4 年8月～：54人 (実績)

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・ 県 (10/10) (県立高校への配置のため)

(4) 類似事業の有無

- ・ 無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
人件費	229,126	報酬及び共済費
旅費	15,171	赴任・帰国旅費、通勤手当、活動旅費
負担金	7,226	外国青少年招致団体負担金
合計	251,523	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- (仮) 第4次岐阜県教育振興基本計画
 施策Ⅱ 「未来を創る確かな学力と実践力」の育成
 11 国際理解教育の充実とグローバル社会で活躍できる力の育成

(2) 国・他県の状況

- 2020年度より小学校から順次、新学習指導要領の完全実施
 - ① 小学校高学年の英語教科化
 - ② 「授業は英語で行うことを基本とする」が中学校でも実施
 - ③ 英語による言語活動の高度化と大学入試改革における英語4技能評価
- 他県におけるJETプログラムによる外国語指導助手の配置数
 福井 34人/24校 富山 37人/33校 三重 48人/53校
 石川 46人/40校 静岡 95人/85校 ※愛知 民間委託88人/145校

(3) 事業主体及びその妥当性

- ・ 外国語教育の充実と国際理解教育、グローバル化に対応した教育を推進するため、全ての県立高校でALTの授業を生徒が受けられる環境が必要である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

岐阜県教育ビジョンの主要施策の一つである「国際理解教育の充実とグローバル社会で活躍できる力の育成」に向けて、全ての県立高校において、英語4技能の育成、特に発信力の育成に対応した指導体制を強化するためALTを配置し、自らの考えや意見を発信できる態度や能力の育成を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H28) *参考	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R 10)	達成率
						左表のとおり
①一定の英語力を有する生徒の割合 (高:CEFR A2 / 中:CEFR A1)	(高)41% (中)36%	(高)46% (中)55%	(高)50% (中)55%	(高)55% (中)60%	(高)60% (中)60%	

○指標を設定することができない場合の理由

--

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	(1) ALTの指導力向上を図る研修 ・指導力向上研修 年間 2日 ALT・英語教員参加 ・地域カウンセリング担当者会議 年間 12日 ALT等 9名参加 ・県立学校ALT担当者会議 年間 1日 担当者参加 (2) 生徒の英語力育成を図るALTの指導内容 ・配置校（12校）における授業実践 ・未配置校への訪問指導（国際関係行事、スピーチ、プレゼンテーション指導等） ・中・高校スピーチコンテスト、高校英語プレゼンテーションコンテストの指導及び審査員業務
-------	--

令和3年度	<p>(1) A L Tの指導力向上を図る研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導力向上研修 年間 2日 A L T・英語教員参加 ・地域カウンセリング担当者会議 年間 12日 A L T等 9名参加 ・県立学校A L T担当者会議 年間 1日 担当者参加 <p>(2) 生徒の英語力育成を図るA L Tの指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配置校 (52校) における授業実践 ・高等学校英語キャンプの開催 2日間×2回 延べ78名の生徒と50名のALTが参加 ・A L Tによるオンライン英語クラブ 年間 8回 県立高校希望生徒対象 ・中・高校スピーチコンテスト、高校英語プレゼンテーションコンテストの指導及び審査員業務
	指標① 目標：(高)50% (中)55% 実績：(高)42% (中)55%
令和4年度	<p>(1) A L Tの指導力向上を図る研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導力向上研修 年間 2日 A L T・英語教員参加 ・地域カウンセリング担当者会議 年間 12日 A L T等 9名参加 ・県立学校A L T担当者会議 年間 1日 担当者参加 <p>(2) 生徒の英語力育成を図るA L Tの指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配置校 (63校) における授業実践 ・高等学校英語キャンプの開催 2日間×1回 延べ53名の生徒と36名のALTが参加 ・A L Tによるオンライン英語クラブ 年間 8回 県立高校希望生徒対象 ・中・高校スピーチコンテストの審査員及びフィードバック業務
	指標① 目標：(高)50% (中)55% 実績：(高)46% (中)55%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)</p> <p>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 3	2022年度から全面実施されている学習指導要領は英語4技能を総合的・統合的に学び発信力を高めることを目標とし、大学入試でも4技能を評価することの導入が積極的に検討されている。
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)</p> <p>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	生徒の英語4技能の育成が、県立高校全体ではまだ達成されていないが、上昇傾向にはある。
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)</p> <p>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価)	A L Tの指導力向上を図る研修の充実、A L Tをサポートする体制作りが進んでいる。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

- ・経験のあるALTの指導力を継承する方法の研究
- ・県教育委員会と学校担当者の情報交換と連携によるサポートの実施
- ・新規来日や帰国に係るALT本人と担当者の負担軽減方法の検討

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

ALTの活用が生徒の英語学習の向上やグローバルな視野の醸成に大きく寄与している。英語4技能の育成強化に向けて、授業内外でのより効果的な活用のあり方について研究を進める。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	新規招致JET参加者に対する岐阜県オリエンテーション、ALT指導力向上研修、地域カウンセリング会議等 【商工労働部国際交流課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	岐阜県のJET取りまとめ団体である国際交流課との連携、協力